

当院の取り組み（感染対策）

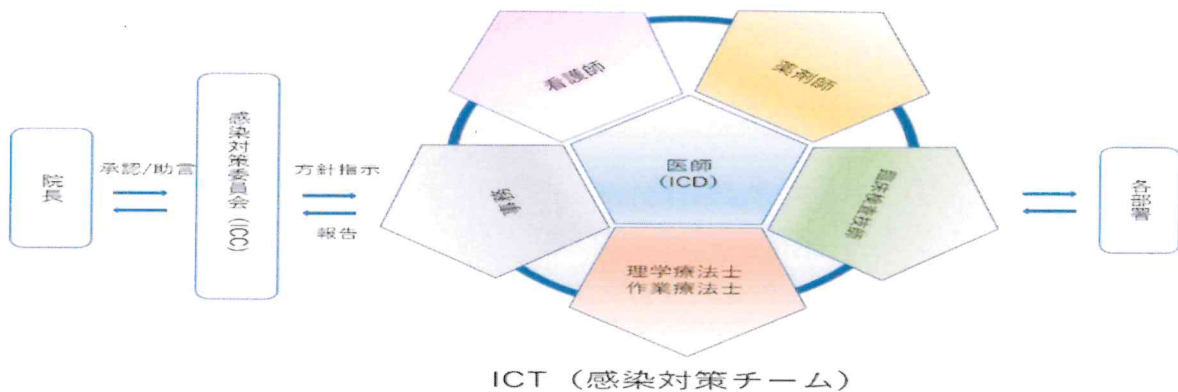
院内感染対策チーム

感染対策チームとは

Infection Control Team（インフェクションコントロールチーム）の略語で「ICT」と呼ばれており、病院内の感染対策を担うチームです。院内では、患者さんやご家族、病院職員など、病院内すべての人を感染から守るため、日々活動しています。さまざまな職種が専門的な知識・技術・経験を用いて、問題となる感染症の発生状況を把握し、根拠に基づいた感染防止対策を実践できるよう組織横断的に活動を行っています。

構成メンバー

医師（ICD）	1名	理学療法士	1名
看護師	4名	作業療法士	1名
薬剤師	1名	事務	1名
臨床検査技師	1名		



院内感染対策の取り組み

①院内での感染症の発生状況の把握

院内における感染症の発生状況、各種サーベイランス、院内検出病原体、抗菌剤使用状況についての情報を共有・協議しています。

②院内ラウンド

ICTメンバーにて院内ラウンド（1回/週）を実施し、現場の感染管理状況の監視、指導を行っています。

③院内感染対策マニュアルの作成と改訂

感染症法やCDCガイドラインに基づく感染対策マニュアルの作成と改訂を行っています。

④感染対策教育および感染防止対策の実施

全職員を対象に、感染対策教育研修を開催しています。（2回/年）

鋭利器材（針刺し）で、万が一事故が発生した時の対応を策定しています。また、職員に対し新型コロナウイルスワクチンやインフルエンザワクチン、B型肝炎ワクチン接種を実施しています。

⑤ICT会議

ICTメンバーにて毎週木曜日会議を実施し、院内の感染状況や感染症に関する法令等についての情報を共有・協議しています。

⑥他施設との感染対策情報の情報共有と連携

国立国際医療研究センターと感染に関するネットワークを組織し、合同カンファレンスや研修会などを開催しています（4回/年）